

EA121DF-1(エアブラシキット)取扱説明書

Ver.1.0

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きますためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

●トラブルシューティング

A. 不安定な塗装になる

- 理由:1.スプレーノズルが損傷しているか割れている。
2.スプレーノズルとユニットのネジがエアに触れている。
対策:1.スプレーノズルを新しいものに交換する。
2.ネジをしっかり締め直す。

B. 粗い粒子が吹き付けられる。

- 理由:1.ノズルの先に絵具が付いている。
対策:1.ノズルを清掃してください。

C. 塗装表面が不均一

- 理由:1.ノズルの先に絵具が付いている。
2.絵具の粘度が高すぎる。
3. エア圧力が低すぎる。
対策:1.ノズルを清掃してください。
2. 粘度を調整してください。
3. エア圧力を調整してください。

※ その他

1. 粒子が粗い吹き付け:絵具が濃すぎる。絵具を薄めて、ニードルを点検し、エアの供給量を点検する。
2. 紙が跳ね上がる:絵具が薄すぎる。絵具を調整する。吹き付け動作を早くしてみる。
3. ストロークの終わりに絵具のシミができる:手を動かす前に吹き付けを始めている。絵具の吹き付けを止める前に手の動きを止めている。
4. 炎のようになる:吹き付け中にリストを回してしまっている。
5. ムカデのようになる:吹き付けが多すぎ、紙に近づけすぎている。
6. 飛び散る:チップの中にニードルが入り込んでしまう。レバーをゆっくり戻し、ニードル先端に固まった絵具が付いていないか点検する。
7. ストロークが曲がる:腕の弧が紙に近づきすぎる。腕はワークと平行にする。
8. 吹き付けが制限される:スプレーのレギュレーターを締めすぎている。
9. 絵具のカップに泡が立つ:スプレーのレギュレーターを調整する。
10. スプレーが閉じない:チップが詰まっている。
11. 吐き掛ける:ニードルかカップにカスが詰まっている。絵具が濃すぎる。

● 手順

1. 塗装する対象を準備します。ペンキする部分にマスキングを掛けてください。
(対象表面は油やホコリが付いていないようにきれいにしてください。)
2. 対象表面から15cmくらいノズルを離して、短いストロークで吹き付けます。
一定の動きで対象面に平行にブラシを操作してください。
厚く塗りすぎず、薄くコートして乾かす間に他の所を塗装します。

● 操作

1. 絵具を適度な濃さに調節し、カップに2/3満たします。カップをエアブラシに取り付けます。エアラインにブラシを接続し、トリガーを引きます。古い新聞紙等で吹き付け具合をテストし、良好な感触を探してください。
2. 換気状態を適切にして作業してください。

● ペンキ量の調節

1. ペンキの量と吹き付けパターンはブラシ前部にあるフルードキャップで調節します。
2. 親指と人差し指でキャップを回します。時計方向に回すとストップポイントになり反時計方向に回すとあらゆる角度のパターンになります。
反時計方向に4回半ほど回すと最大のペンキ量になります。

● メンテナンス・クリーニング

エアブラシは精密工具です。適切なケアと一般常識的な使い方が、工具を長持ちさせます。常にエアブラシとカップをきれいに保ち、カップに絵具を入れたまま放置しないでください。放置すると絵具が工具の内部でガム状になります。使用後に清掃のため、ニードルをエアブラシから抜いたら、正確適切にニードルをチップに戻してください。チップの中で詰まらせないようにしてください。

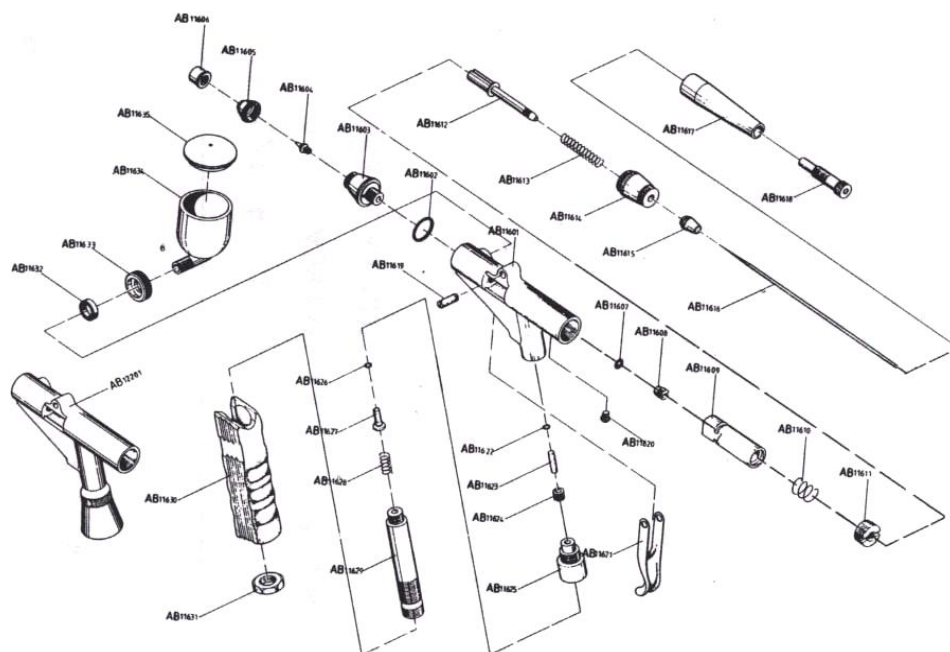
ニードル表面に染みが付くことがあります。ニードルを磨く方法はニードルを作業台上に置き、ニードルの長さのイレーサーをかぶせ自分の方に転がしながら磨きます。

ニードルに付いたイレーサーの屑は親指と人差指で拭い取ってください。

ニードルをエアブラシに戻す時はニードルチャックをしっかりと締めます。しっかりと締めないとカラーを締める事ができなくなります。常にニードルのチップは保護してください。

スプレーのレギュレーターとニードルを曲りから守るためです。

1. カップを清掃する時は、カップを外し硬い毛のブラシを回しながらカップに入れて穴をきれいにします。また、リーマーに綿を取付けてカップの穴に差し込み、残ったペンキを取ってください。
2. カップの中に水やシンナーを入れ、ノズルを指や布で押さえながらレバーを引きます。水が本体上部に行きエアブラシ内部を清掃します。ブラシの吹き出す跳ねがつかないように作業台の下で行ってください。
3. カップのネジを清掃する時も硬い毛のブラシで刷いて水で流します。カップの上から下まできれいにしてください。
4. ニードルチャックを緩めてチューブシャック組品からニードルを反時計方向に回しながら真っ直ぐに引きぬいてください。トリガーは本体から持ち上がります。
5. もしニードルがエアブラシ内で詰まったらニードルチャックを緩め、ニードルの端をペンチで挟んで反時計方向にひねりながら抜いてください。詰まった原因を確認します。
6. ニードルが曲がるとエアブラシの機能を果たせなくなります。曲がったニードルは硬い表面でニードルを転がしながら真っ直ぐに矯正してください。
7. バルブ組品を溶剤に浸けて清掃する時は、バルブに付いているOリングを必ず外してください。本体がペンチで傷つかないようにペンチにカバーを掛けて外してください。



改造はしないでください。

- ・本気の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来す場合があります。

株式会社エスコ

本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06) 6532-6226 FAX: (06) 6541-0929

18.Apr